

3・11 福島へ!

2012年2月13日
3

Tel 050-3036-6464
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長)書記局通信

2・11さようなら原発集会に

1万2000人

2月11日、東京・代々木公園にて「さようなら原発2・11集会」と渋谷を席卷する大デモが1万2000人の大結集で打ち抜かれた!

全学連や法政大学文化連盟、NAZENの仲間達も大学結集前段集会をやりぬき、デモも最先頭で牽引し闘いぬいた。

集会では山本太郎さんが原発再稼働阻止を訴え、福島労働者から3・11への呼びかけが行われた。

1ヶ月後の3月11日はいよいよ郡山で3・11一周年の福島県民集会だ。学生の未来をかけて大結集をかちとり、2012年決戦勝利の突破口を切り開こう!



「再稼働阻止! 全原発廃炉」に向けて、みんなで参加しよう!

原発いらない! 3/11県民集会

【要項】 3月11日(日)福島県郡山市・開成山球場
13:00~オープニングコンサート 15:00~デモ
夕方から全国学生集会やります!

2・11前段集会での斎藤全学連委員長発言！

どうも皆さんお疲れ様です。今日は原発の再稼働を阻止する一大決戦です。

残る原発はついに3基となりました。政府・経産省の官僚自身が述べているように、原発の再稼働は政治判断です。私たちの行動の大きさが全てが決まっています。そしてだからこそ、例えば法政大学で裁判所を使って原発反対のピラを受験生にまかせない、こういうことがまた行われてきています。営業権があるから原発反対のピラを学生にまかせない、こんなことが許されていいのかわ。

そもそも法政大学の言っていることは完全にデタラメです。受験の営業が侵害され、必要十分な人材の確保ができない、こんな風なことを言っています。しかしながら法政大学の受験者数は、この間どんどんあがって、全国3位です。しかも、受験の合格の倍率が高いところで1.8倍ということになっています。これ以上受験生をたくさん受けさせて、それがいったい何なんですか。多くの受験生から、受験料3万5000円をむしり取るだけだして話じゃないですか。

法政大学はまるで教育を金儲けの道具かのように扱ってきた。教育が一つの商品であるかのように扱ってきた。こういう事に対して、私たちは6年間法大闘争を闘ってきました。私たち全学連はのべ118名の逮捕、33名の起訴、私も退学処分ですが、2ケタの退学処分・停学処分を出しながら、教育ってもの、学問ってものを金儲けの道具にする、こういう大学のあり方と対決してきました。教育や学

問を金儲けや、もしくは名誉を得る為の道具にしている、こういう大学だからこそ、原発政策に荷担して、教育ってものを金儲けの道具にしてきてる。この考え方にこそ今の大学の腐敗があるんだろうって私は思います。

こういう風に大学が考えてる、そんな現実が今私たちの目の前にあって、そして今も大学は何も反省せず、どんなに多くの学生が被曝しようが、どんなに多くの人々が、子ども被曝して、放射能で苦しもうが関係なく、受験生から何万という金をむしり取って、学生から学費をむしり取って、同じ事を延々と繰り返そうとしている。私は原発の再稼働って事は、原発が動くかどうかって問題を越えて、これからもそういう社会が続いていくのかどうか、そういうことをかけた闘いだと思っています。

私たち学生も、自分たちの未来をかけて、これからもこんな社会が続いていく、そんなことを拒否する為に3月11日、福島県民集会に本当に大結集したいと思っています。

今日の闘いを一つのステップにして、突破口にして、3月11日福島県民集会へ、この原発の再稼働を阻止して全原発を廃炉に追い込んで、これから先、核も原発もない、そういう社会を作っていく第一歩を皆さん一緒に今年の3月11日から始めていこうじゃないですか。ありがとうございました。



NAZENヒロシマ結成集会大成功！

2月11日、原発再稼働阻止 3・11福島県民大集会にむかってNAZENヒロシマの結成集会が開かれ、150名の参加で、大成功を収めました！

基調講演にたった清野和彦さん（元福島県教組委員長）は、「3/11から1年を前に」と題し、現地からの報告を、労働組合をよみがえらせるという立場から講演して下さいました。清野さんは退職教員の組織を運営しています。事故時に双葉郡に住んでいた退職教員のメンバーのうち、現時点で連絡がついているのは6～7割くらいだそうです。政府の避難指示の不徹底ゆえに起きた避難時の混乱ぶり、

大変な心身の疲労。また避難先での慣れない生活、そして生きている内には古里に戻れないだろうという無念さなど、清野さんの講演から現

地の人々の思いを共有することが出来ました。

広大の一年生（右写真）も、浅原学長に申し入れ書を提出したが、1ヶ月以上たっても回答がないことを問題にし、学生から一言メッセージを集めて、ついに学長から回答するという言辞を引きだした闘いを報告！ 命より金儲け、真実より金儲けという腐敗した構造が大学の中にこそあり、それを学生の力で変えることでもっとも福島人の怒りと連帯したいということを訴え、会場は沸きました。デモは100人で出発。賑やかなデモに圧倒的な注目でした！

